



内田鋼一さんの引出し黒が、一点とどいた。一点というのは恐いものである。百碗展としてあるのがすごく恐いこと。

でもいいのである。この一碗がすごく良いのであるから。

内田さんの何十碗の引出し黒を見てきたが、これが一番いいのです。変化の多い茶碗。おもしろいのです。

この、引き出す瞬間はどの時なのだろう。多分その時をのがすと、この表情は産まれない。出てこない。そんな時があることを知っているのだろう。

手にとって、飲んでみて、さぐればさぐるほど、この人の手の内に引きつけられていく。手を遠くにして内側をながめてみる。中が大きい。びっくりする位のゆったりと円がえがかれ、こだわりもなく悠然としている。結局、何も言えなくなる自分にたちかえって、この人の仕事が終わるのを待つしかないのである。

2016年10月10日 店主 ● たかはしたいいち

UCHIDA KOUICHI

● 内田鋼一 百碗展

2016 10月29日.土 — 11月6日.日

作家在廊日 29日(土)

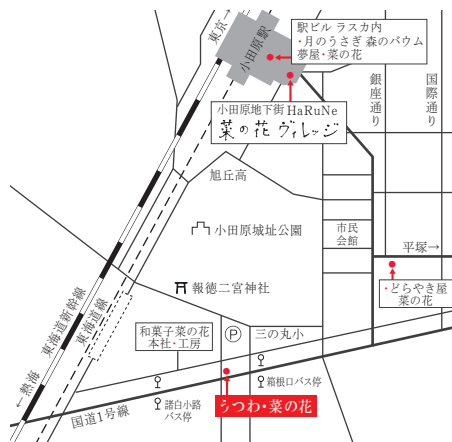
OPEN 11:00-18:00 定休日 2日(水)



内田鋼一

1969 愛知県名古屋市に生まれる
 1990 愛知県立瀬戸窯業高校陶芸専攻科修了
 以後、海外滞在(ヨーロッパ・アジア・西アフリカ・南米等)
 1992 三重県四日市市に移り独立
 1993 より個展を中心に活動 以後、国内外にて個展
 2012 滋賀県朽木に穴窯を築窯

「うつわをみる 暮らしに息づく工芸」展/東京近代美術館工芸館('00) 「UCHIDA KOUICHI」展/三重県Paramita Musium 作品集「UCHIDA KOUICHI」を求龍堂より刊行('03) 「S O F A」/アメリカ ニューヨーク('06) 第43回明治村茶会 日本庭園野点席 席主担当/愛知県 明治村('09) 「茶事をめぐって-近代工芸への視点」展/東京近代美術館工芸館('10) 「井上有一・内田鋼一」展/神奈川県 箱根菜の花展示室('11) 越後妻有トリエンナーレ/新潟県 十日町「S O F A」/アメリカ シカゴ('12) 他、スペイン・イギリス・イタリア・オーストラリア・西アフリカ・ベトナム・タイ・韓国・中国・台湾・インドアメリカ南米等で制作及び発表



うつわ菜の花

小田原市南町1-3-12 電話(0465)24-7020
 小田原駅東口より箱根方面へ向かうバス利用 [箱根口] バス停下車徒歩3分

<http://utsuwa-nanohana.com>

次回予告 うつわ菜の花 / mon sakata 11/12-11/20

うつわ菜の花